

Meishi Initiative(特に研究力が優れており、志がある若手研究者への支援事業)スタート!

概要

なごや先端研究開発センターでは、この度、なごや共創研究基金を活用した新たな事業として、「Meishi Initiative(特に研究力が優れており、志がある若手研究者への支援事業)」を開始しました。この事業は、特に研究力が優れており志があると認められる若手研究者の研究活動に必要な支援をすることで、次世代の研究者育成を推進し、本学全体の研究力を強化することを目的としています。

支援内容

- ア 当該研究課題開始年度における**スタート支援金 最大200万円**
- イ 研究を推進するための**研究支援金 最大500万円**
- ウ 研究を推進するために必要となる**施設の利用料 最大300万円**
- エ 当該研究者を特任教員として雇用した場合の**本人分の人件費**

※エは、公立大学法人名古屋市立大学職員就業規則の適用を受ける教員ではない研究者のみ



支援対象

- (1) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施している「**創発的研究支援事業**」に採択され、採択課題を推進予定または推進中の研究者
 - (2) 国などの競争的研究費による**外部資金(直接費700万円/年以上)**または産学官連携による受託研究費、共同研究費などの一定以上の外部資金や知財収入(**間接経費も含めた大学収入分が合算して平均300万円/年以上**)の継続した獲得が予定されている研究者
- ※(2)は、支援開始年度の4月1日時点で「博士号取得後15年以下」等の経験要件を満たす者

令和8年度4月からの支援対象者

令和8年度4月より、**6名の若手研究者**に支援を行うことが決定しました!

	所属	対象者	主な研究テーマ
1	医学研究科	野村 洋 寄附講座教授	人工海馬による記憶・学習能力の創発
2	医学研究科	岩田 欧介 教授	新生児の痛み・苦痛を客観定量する簡便なモニタリング法の確立
3	医学研究科	濱田 太立 講師	特発性全身性毛細血管漏出症候群(クラークソン病)の診断検査および治療開発に向けたエビデンス創出研究
4	薬学研究科	矢木 宏和 教授	タンパク質に組み込まれた糖鎖修飾コードの解明と糖鎖修飾制御
5	薬学研究科	矢木 真穂 准教授	クマムシタンパク質が切り拓く乾燥耐性超生体組織の創成
6	なごや先端研究開発センター	加藤 耕治 特任助教	リサイクル異常症という新規病態概念確立と治療法開発

支援対象者にインタビュー



薬学研究科
矢木 宏和 教授

令和4年度より創発的研究支援事業の支援を受け、「タンパク質に組み込まれた糖鎖修飾コードの解明と糖鎖修飾制御」という挑戦的な研究を進めています。一方で、研究を着実に発展させるには、実験だけでなく、事務手続き、施設利用などの基盤整備も重要です。Meishi Initiativeの支援により、秘書・研究補助員の雇用や共通機器・研究施設の利用費を確保でき、研究に集中できる環境が整いつつあります。

若手研究者にとって大変心強い制度であり、大学の期待に応えられるよう、独自性の高い研究成果を発信していきたいと考えています。

卓越研究者招へい事業

概要

極めて高い研究実績を有し、外部研究費の獲得が継続的に見込まれる研究者を特任教授として招へいし、本学の研究領域の拡大・高度化、そして更なる外部研究費の獲得を進め、本学の研究力強化につなげることを目的とした制度です。

令和8年4月より、なごや先端研究開発センターの特任教員として**中西 真**先生にご着任いただきました。



中西 真 特任教授
(東京大学医科学研究所
特任教授(兼務))

令和8年4月1日付で、なごや先端研究開発センター老化生物学研究室に着任いたしました中西真と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は昭和60年に名古屋市立大学医学部を卒業後、自治医科大学、米国ペイラー医科大学、国立長寿医療研究センターを経て、平成10年に母校である名古屋市立大学に戻ってまいりました。平成12年からは名古屋市立大学大学院医学研究科細胞生化学講座を主宰し、個体老化の研究に取り組んでまいりました。平成28年に東京大学医科学研究所へ異動した後も、個体老化の分子基盤の解明と、老化を制御する技術の開発を進めてまいりました。

今後は、これまでの研究をさらに発展させ、ヒトの老化に介入しうる技術を確認することで、高齢者の生活の質の向上と疾患の予防を実現したいと考えております。

至らぬ点も多いかと存じますが、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

共創まちづくり研究推進事業 第二次公募がスタート

概要

行政課題や地域課題の解決、ならびに地域の発展を目的として、独創的・先駆的な学術研究や、地域のまちづくり、市民の健康増進に寄与・貢献する応用研究等に対し、2年度にわたり研究費を配分する「共創まちづくり研究推進事業」の第二次公募を行いました。

現在、令和8年8月からの研究開始に向け、選考を進めているところです。今回は、令和8年度から令和9年度までを研究期間とする30件の研究課題を公募し、名古屋市とのさらなる共創・連携を目指します。

名古屋市とのさらなる共創・連携を目指すための第二次公募のポイント

① 行政ニーズとの適合性を審査の必須要件に設定

- ・行政課題や地域課題の把握・理解
- ・市の関係部署との共創・連携体制の構築
- ・研究成果の市政反映イメージの共有

② 名古屋市との事前相談制度の実施

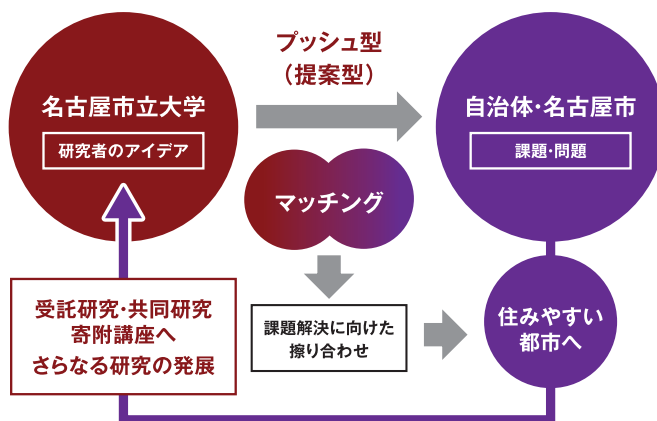
③ 進捗報告に基づく研究課題の継続確認

研究課題

以下の **ア** か **イ** に該当する課題

ア 名古屋市総合計画2028の「重点戦略」または「成長の原動力」に掲げられている「事業」等に資する課題

イ これまでの連携実績などにより、市との連携体制が構築できている課題



詳細は「学内イントラ>研究・産学官連携>各種研究費>共創まちづくり研究推進事業(第二次)」をご覧ください。

第一次公募について

第一次では、50件の研究課題を採択し、令和6年度より2年度間にわたり、名古屋市をはじめとする多様な主体と連携・協働のもと、研究を推進していただきました。

今後は、研究成果について、報告書の作成や報告会の開催を予定しています。

公募状況等

Check!!

対象者	事業内容	募集期間	掲載
教員	研究代表者に対する人件費支援事業 新たに雇用する特任助教の人件費の7分の5を上限に支援。	随時	学内イントラ>研究・産学官連携 >各種研究費
臨床研究を行う方	臨床研究の実施奨励制度 臨床研究法の臨床研究を新たに主導的に実施する場合、研究費(50万円/件)や、論文投稿料(50万円/件)を支援。	随時	市大病院HP ホーム>診療科・中央部門紹介>中央部門>臨床研究戦略部

申請にあたっては、公募要項等をよくご確認願います。

「学内イントラ > 研究・産学官連携 > 研究支援情報 > 研究支援情報一覧」では、本学における研究支援情報を一覧として掲載しています。ぜひご覧ください。